

県内百貨店・主要小売店4月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	16.3		6.3
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	3.6	2.8	0.6
Vドラッグ	1.5	▲0.1	▲1.5
ホームセンターバロー	3.5	1.3	▲1.1
セリア	5.0	1.4	2.2
ヒマラヤ	▲2.5	▲6.8	▲9.6

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の4月上高実績(速報値、小売店は全店売上高)は、6社のうち5社が前年同月を上回った。岐阜高島屋は7月末の閉店が迫って、客入りが堅調。最後の北海道展には連日大勢の人が詰めかけ、売上高は16・3%増と大幅に伸びた。バローは前年より土、日曜日が少なく既存店の伸びは鈍化した。集客策に力を入れる水産部門が全体を押し上げた。



百貨店小売店 5社が前年上回る
4月の売上高

た。Vドラッグは、高温が続いた影響で紫外線対策グッズや殺虫剤などが好調だった。ホームセンターバローは、売り場づくりに力を入れた効果もあり、全店が3カ月連続でプラス。顧客が求める価格帯を意識した商品展開も奏功している。セリアは既存店こそ微増にとどまったが、全店では出店効果が寄与。キャラクター商品が引き続き人気を集める。ヒマラヤは物価高と天候要因が重なり、タウンユースのAPARELが低迷。一般スポーツは好調を持続する。キャンプ用品は予想より上向いた。